

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第11号
令和4年6月24日

「前期中間考査を終えて」

今週の水曜日をもって、前期中間考査が終了しました。みなさん、本当にお疲れ様でした。

中学校と比較すると高校の学習内容は量、質ともにハードになるため、日頃の授業と自学自習の大切さを改めて感じたはずです。

早速、昨日の授業の中で答案が返却された科目もあったかと思われま

す。誰でも点数は気になるものです。しかしながら、その一方で皆さんに必ず取り組んで欲しいことがあります。それは、答案の「見直し」です。

この見直しは大変重要であり、行う目的は下記の2点にあります。

1 自身の学習、受検を振り返る。

自身の学習の成果が、試験でどのような結果で表れてくるのか。

返却された答案を見直しながら、間違いが理解不足からくるものなのか、ミスから生じたものなのか原因を自己分析してみることです。

仮に理解不足からくるものであれば、早めに教科担任の先生に質問に行くことです。試験前は分かったつもりでも、いざ考査を受けてみると解けなかったといったこともよくあることです。

また、ミスから生じたものであれば、受検中の心理状態をもう一度振り返り、次はどうしたらよいのか考えてみることです。

そうした取り組みを行うことで、試験に向けた学習計画の立て方、試験本番での挑み方を考える絶好の機会となるはず

2 授業のポイントを知る。

教科担任の先生方は、各項目のポイントに力を入れて日々の授業を展開されています。そうした箇所が、試験ではどのような形で出題されているのか知ること

で、学習に対する姿勢が必ず変わっていくはず

です。

サッカー競技の世界では、こんな言葉があります。
～試合終了のホイッスルは、次の試合の開始のホイッスルである～
この言葉には終わったことを悔やんだり、失敗をそのままにしたりしないで必ず次の目標に向けて前進していきなさいという意味があります。

勉強に関しても同じことが言えるのではないのでしょうか。

自分自身に何が足りなかったのかを謙虚な姿勢で見つめ、倦まず弛まずの気持ちで次回の考査に向けて学習に取り組んでいきましょう。

最後に一言付け加えますが、答案は必ず保護者の方にも全て目をとおしていただくようにして下さい。

年次主任